

Vol.99

2022.7



‘キャッチ’

CATCH

西東京市図書館

スキマ読書

～サクッと読める短編集～

『素敵な日本人 ー東野圭吾短編集ー』

東野圭吾 著 光文社

9編から構成されたこの短編集のタイトルは『素敵な日本人』。日本人の素敵な部分が書かれていると思います、全て読み終わっても、タイトルとは真逆の登場人物ばかりで、なぜそのタイトルにしたのか未だに私には分かりません。ひとつひとつの物語は命について深く考えられる内容になっていて、この人物達がどう素敵なのかを考えながら読んでいくと面白いと思います。

その中でも子育ての疑似体験をするため赤ちゃんロボットのレンタルサービスを利用した「レンタルベビー」というお話は、命を守る主人公エリーの頑張りを通して、子供を育てる大変さ、命の大切さを改めて考えられる機会になりました。

これは短編集の中の1編でしかありません。9編あればひとつでも自分と重ね合わせられたり、引き込まれたりする魅力的な1編を見つけられるのではないのでしょうか。また、私は見つけることが出来なかった「素敵な日本人」の意味を探してみてください。是非一度手に取ってみてください！

『ムーミン谷の仲間たち』

トーベ・ヤンソン 作・絵 講談社

日本には知らない人がいないと言っても過言ではないほど人気のアニメ『ムーミン』。そのアニメの原作が小説だったということをご存知でしたか？

今回紹介するのは、そんなムーミンの短編集です。この小説は9つのお話が入っていて、それぞれ色んなキャラクターが活躍します。その9つの話の

中で、今回は特におすすめしたいものを紹介します。

おすすめのお話は「世界で一番最後の竜」というお話です。このお話では皆様よく知る主人公のムーミンが、近くの池から小さな竜を見つけるところから始まります。

ムーミンはその竜を飼おうと思い、家の者に見つからないように瓶に入れて、2階の自分の部屋に連れていきます。ムーミンは一番の親友、スナフキンに最初に見せたいと思い、川にいるスナフキンを自身の部屋へ連れ込みます。すると竜はスナフキンに懐きだし…？！

このお話は竜を通してムーミンの心情の変化が深く読み取れる作品です。自身が見つけた竜に懐いてもらえず、かわりにスナフキンに懐くという現実、ムーミンは何を思うのか。考えさせられるお話です。

さて、ここまで紹介してきましたが、まだまだこの本にはたくさんのお話が入っています。また、今回紹介したお話はみんな大好きムーミン一家が活躍するお話なので、読んだことない人でも楽しめること間違いなしです！短編集なので好きなところから読んでもよし、じっくりすべてを読んでもよし。少しの時間を見つけて、サクッと自分なりにムーミンの世界にひたってみてはいかがでしょうか？

『ポッコちゃん』より「おーいでてこーい」

星新一 著 新潮社

深くて大きな穴が出現！大きな穴に「おーい、でてこーい」と拡声器で話しかけてもなんにも出てこない。やがて人々は人に見られたくないものを、その穴に捨て始める。とうとう原子力発電所から出た核のゴミ、伝染病の実験に使われた動物まで。その穴に不要なものを捨てることで空は澄んで見える。穴に捨てられたものは消えたのだろうか、消えるはずはない。というお話です。

この作品は、1958年に書かれた作品です。星新一さんの父親は星薬科大の創立者。ご本人も星製薬の社長を務めたこともある方です。ショートショー

トの神様ともいわれる星新一さんの作品は、科学的な作品が多く大変面白く、社会的な教訓も意図され興味深く、何度も読み返しています。

原子力発電所の放射性廃棄物、プラスチックスープになってしまった地球の海、そして私たちから日常を奪ったウイルス COVID-19。臭いものにふたをして、自己都合で突き進む人間という生き物。穴に捨ててしまったものは全て未来の私たちの降りかかってくることに気が付かず今も繰り返される愚行。SDGs、今できることをひとつずつ。未来が幸せであることを願い、再読した一編です。50年以上前の作品ですが、ぜひぜひ読んでみてください。

『インスマスの影—クトゥルー神話傑作選—』

H.P ラヴクラフト 著 南條竹則 編訳 新潮社

世界には様々な神話が存在します。日本では、日本に古くから伝わる古事記や星座のエピソードとしてよく登場するギリシャ神話などが有名ではないでしょうか。そして、そういった神話は大抵古い時代にルーツを持つものがほとんどです。しかし、今回紹介する神話であるクトゥルー神話は他に比べると異色で、なんと20世紀のアメリカで誕生した神話なのです。

クトゥルー神話は20世紀初めにH.P.ラヴクラフトによって生み出された作品群の世界観を基として、世界の様々な作家によって展開されてきた神話です。その内容はSFホラーがほとんどであり、今回紹介する短編集にも宇宙から飛来した隕石が引き起こす怪奇現象の話や、魚に似た顔の人々が暮らす街の話など、様々な短編が収録されています。

この本はクトゥルー神話の元祖、ラヴクラフトの作品の中でも特に評価が高い作品を集めた、いわばクトゥルー神話入門書です。クトゥルー神話は現在に至るまで様々な作家によって手が加えられつつある「現代に生きる神話」なので、この本に収録される作品以外にも面白い作品は多く、更に今でも増え続けています。皆さんもこの入門書から、クトゥルー神話という広く深い世界観に没入してみませんか。

『昨夜のカレー、明日のパン』

木皿泉 著 河出書房新社

たくさんの短編に、いっぱいリアルで複雑な感情たち。

隣に住んでいるような気がするほどの生活感。

それらがぎゅっと詰まったこの本を読み終えたときには、あなたの中は「なんとか生きていける」というようなぎりぎりポジティブな気持ちで満ちていると思います。

この本は、本当にリアルです。エッセイだと言われても信じてしまいそうなほどに。でも、つまらない日常ではなく、かといって稀^{まれ}に起こるすごく不思議な出来事だけが書いてあるわけでもなく、普通に起こりそうなこと、存在していそうなことが、稀有^{けう}な状況にいるテツコとギフの周りで起こるのです。

私は少しこの本に対して不満があります。正直、私は登場人物の一人、岩井さんがあまり好きではない。いい人なのだろうけど、なんとなく嫌です。なので、テツコと岩井さんがうまくいっているのが少し嫌です。でも、この二人が実在していたとしても、きっとうまくいって結婚するだろうとも思います。そういう意味でも、リアルなのです。お互いに理解し合えない部分があっても、妥協して諦めて許して、共に生きていく。

そして、すいぶん長く一緒に暮らしているギフとテツコの間にも秘密や暗黙のルールがあって、お互いそこには踏み込まないように、それを守るようにしている。そこにも、すごく人間らしさを感じます。

リアルで、人間くさくて、でも退屈を感じないこの本。これを読んで、「人間」を楽しんでみませんか。



『箱庭図書館』

乙一 著 集英社

この短編集は、著者である乙一さんがwebでボツ原稿を募集して、リメイクするという企画で書かれたものです。どれも秀逸な作品ばかり。原作者が違うだけあって、それぞれに違う雰囲気を感じ出しているところがこの本の魅力的なところです。

《物語を紡ぐ町》がキャッチコピーの文善寺町を舞台に、恋愛、ミステリ、青春、ホラーなどなどたくさんのジャンルで6つの物語が繰り広げられます。

例えば、『コンビニ日和！』は、読んでいて思わず笑ってしまうような個性的な登場人物たちとコミカルな描写が特徴的ですが、『ワンダーランド』はミステリ ホラー小説で、背中がぞっとするような描写があります。『ホワイトステップ』は心温まるファンタジーで、『王国の旗』はおとぎ話のような雰囲気と宗教的要素が入ったらファンタジーです。他にも『小説家のつくり方』は予想を裏切る展開で『青春絶縁体』は毒舌2人の掛け合いが面白いです。

この短編集は、話をまたぎ色々な人物が登場するというのも魅力的です。図書館で見つけたら、是非手に取ってみてはいかがでしょうか。

『放課後ひとり同盟』

小嶋陽太郎 著 集英社

この短編集を一言で表すと、「まあ、いっか。」です。「放課後ひとり同盟」には、短編が5話入っています。それぞれの主人公が、迷い、頑張り、最終的に誰かの言葉や行動をきっかけとして気を抜いてみると、悪くはないかな、というお話です。5話のうち、私が一番好きな章「空に飛び蹴り」を紹介します。

朝から痴漢、祖母の認知症、大幅に減る父の給料。女子高校生である林は、数々の不幸に見舞われてしまいます。そんなある日、林は「不幸が落ちてきている早く蹴り返さないと不幸が積もって降りかかるから非常にマズイ。」という通称“蹴り男”と出会い、自分もだんだんと不幸が見えるようになっていき

ます。

あらすじだけだと意味不明で暗い話に聞こえますが、本文はカラッと爽快で、独特な言葉の言い回しに思わず笑ってしまうこと間違いなしです。読後は軽やかな気持ちになるので、ぜひ読んでみてください！

『余命 3000 文字』

村崎羯諦 著 小学館

この短編集には、表題作をはじめとして少し不思議な雰囲気漂う短編が収録されています。

その表題作の「余命 3000 文字」は余命が 3000 文字であることを宣告されたとある人の一生の話です。彼の人生がこの短編に綴られていくたびに、3000 文字までの文字数、つまり残された命が減っていくという仕掛けになっています。残りの文字数が減りすぎないように、当たり障りのない生活を送るようにしていた彼はある日、火災現場に遭遇してしまいます。燃えさかる家に子供が取り残されていることを知った時、すでに余命は 1500 文字ほど。もし子供を助けに行くと、そんな非日常的な出来事を描写していたら残りの文字数はあっという間に減ってしまいます。はたして彼の選択とは。そしてその結果どんな運命をたどるのでしょうか。

このほかにも切なく悲しい話や、少し怖い話、童話調の話などさまざまな雰囲気、ジャンルの短編が 26 編収録されています。どれも 5 分ほどの短い時間で読める長さです。一つ一つの話は独立しているのでどこからでも読むことができます。

彼氏がサバ缶になった話、好きだった人の影を買う話、生まれてくることを拒否する子供と妊娠六年目の母の話、野生のお金持ちを拾って飼う話など、オチに笑ってしまうような話もあれば、感動するもの、意味が分かったゾッとしてしまうようなものもあります。

気軽に読めて、不思議な体験ができる短編集をぜひ読んでみませんか。

共同編集者のつぶやき

～編集後記に代えて～

今回の特集は「短編」！新メンバーをむかえた共同編集者たちが選んだ、粒ぞろいの作品がそろっています。この夏、読者の皆さんが新しい作家やジャンルの本を手取る機会になれば幸いです♪

- ①ペンネーム
- ②自分が主人公の本があるとしたら、そのジャンルは？
- ③この1年で、やりたいこと！

- ①あさぎ
- ②学園もの。なんだかんだ楽しく学校生活をおくれているのでこれにしました。度胸がないので突然ファンタジーの世界などに行ったらとしても何もできなさそうな気がします。
- ③高校最後の一年をめいっぱい楽しみたいです！もちろん読書も！

- ①ひまわり
- ②医療物
- ③最後の TEEN を満喫する！

- ①アオイ
- ②ホラー
- ③関東近辺でいいから泊りで旅行したい

- ①ひより
- ②ゆるい日常系
- ③ジブリの映画をたくさん観て、感動に浸りたいです。あと、部活を頑張ります！

- ①さと
- ②異世界へ転生して幸せに暮らす物語！
- ③去年コロナで行けなかったスキーを今年やってみたい！

- ①アカ
- ②恋愛小説、であって欲しい。実際はコメディでしょうか？
- ③勉強を頑張りたいと思います！！

- ①なぎ
- ②青春群像劇(笑)8人くらい主人公がいて、それぞれにストーリーがあって、みたいなのの中の1人です！
- ③おいしいものをたくさん食べて、たくさん音楽を聴いて、たくさん踊りたい！

- ①ブロッコリー
- ②現代風青春ミステリー
- ③今年度は記念すべき100号の制作があるので、今までになかったような新しい挑戦をしてみたいです！

- ①しい
- ②ほのほの学園もの！（学校にほとんどを捧げているので）
- ③筋トレを継続したい！

- ①しほ
- ②ファンタジー（ミステリー、または学園コメディな世界がいいです。）
- ③高校生活 兼部しているので2つとも頑張りたいです。

- ①りほ
- ②ファンタジー
- ③高校で部活も勉強も頑張りたい

